



平成27年9月24日

各 位

会 社 名：ダイハツディーゼル株式会社
代表者名：代表取締役社長 原田 猛
(コード番号 6023 東証第2部)
問合せ先：管理統括部 水科 隆志
(TEL. 06-6454-2331)

SCR用尿素水生成装置の開発・販売・アフターサービスのお知らせ

当社は、ディーゼルエンジンの排気ガスに含まれる窒素酸化物（NO_x）を分解するために使用する尿素水を船内で生成する装置を開発し、販売及びアフターサービスを致します。

当社では既に、2016年以降の建造船に適用されるIMO（国際海事機関）のNO_x第3次規制に対して排気ガス後処理装置（選択触媒還元法脱硝装置、以下「SCR装置」）を製造、販売しており、SCR装置とエンジンとのセットでIMOのNO_x第3次規制に適合していることの鑑定書SOC（Statement of Compliance）を世界に先駆けて取得しております。このSCR装置と尿素水生成装置を組み合わせ販売します。

SCR装置では触媒と尿素水を使用して排気ガス中のNO_xを分解します。開発した装置では尿素粉末と水を混ぜ合わせ、当社のSCR装置に適した濃度で品質の高い尿素水を生成します。その場で必要な量を生成できるため、尿素水保管用の大型タンクが不要であり、限られたスペースで設置できます。この尿素水の生成には温度管理や濃度調整、混ぜ方など高いノウハウが必要です。

尿素粉末は加工された尿素水よりも価格が半額程度と安価であり、粉末は入手の手軽さや小スペースでの保管など取り扱いが容易です。現状では、尿素水の供給インフラが整っておらず、価格も高価なため、尿素水を船内で生成することで、運用の効率化及びコストの低減に役立ちます。

以 上